



平成18年3月28日

各 位

会社名 株式会社メディビック
代表者名 代表取締役社長 橋本 康弘
(コード番号2369:東証マザーズ)
問合せ先 執行役員管理本部長 川井隆史
(Tel: 03-5510-2407)

新規遺伝子発現解析ソフトの販売および その最新技術を反映したデータ分析事業を開始

この度、当社は、Affymetrix, Inc. (以下「アフィメトリクス社」という。)の GeneChip® 対応ソフトとして認められた Stratagene Corporation (以下「ストラタジーン社」という。)の遺伝子発現解析ソフト、「ArrayAssist® 4.0」の独占販売権を獲得し、その基盤技術を活用するデータ分析事業を展開することになりましたので、お知らせ致します。

当社の代表取締役社長の橋本が取締役を兼務している Strand Life Sciences, Pvt.Ltd (以下「ストランド社」という。)とメディビックは、2003 年末から遺伝子発現解析ソフト「avadis™」を共同開発してまいりました。そのリリース後、ライフサイエンス領域の技術開発を牽引しているストラタジーン社より、avadis™ の基本機能を評価され、avadis™ はストラタジーン社の遺伝子発現解析用ソフトの基盤技術として採択されました。今回、avadis™ に改良が加えられた「ArrayAssist® 4.0」が、世界最大の遺伝子チップマーケットを有するアフィメトリクス社の Exon チップ (GeneChip® Human Exon 1.0 ST Array) 等に対応するソフトウェアとして認定され※、日本国内においては、当社がその独占販売権を獲得致しました。

当初、ストランド社と始めた基盤技術の共同開発が、世界的に認知される遺伝子発現解析ソフトの開発に貢献できたことは、当社としても大変意義深いことでもあります。

「ArrayAssist® 4.0」の独占販売権獲得を受け、当社はストラタジーン社と共同で、2006 年 3 月末より本格的なマーケティング活動を開始する予定です。

本件が当社の平成18年12月期 (平成18年1月1日～平成18年12月31日) における当期業績見通しに与える影響については現時点では未定ですが、状況が分かり次第、速やかに詳細をお知らせする予定です。

以上

※ アフィメトリクス社 GeneChip® ユーザーへは「ArrayAssist®」の機能制限版である ArrayAssist Lite が無償提供されております。

【製品概要】 遺伝子発現解析用ソフト ArrayAssist® 4.0 (アレイアシスト 4.0)

「ArrayAssist®4.0」は多彩なアルゴリズムを搭載し、基礎から応用までの統計解析をはじめ、データマイニングやビジュアライズツールなど、新機能を数多く搭載しています。

[1. 機能]

■多彩な解析アルゴリズム

- ・基本的なものから応用的なものまで、さまざまな統計解析が、簡単なウィザード形式で利用可能
- ・k-Means、Hierarchical、PCA など、各種クラスタリングアルゴリズムを搭載
- ・Support Vector Machine、NeuralNetwork、Decision Tree など、各種分類予測アルゴリズムを搭載

■マルチプラットフォームに対応

- ・ GeneChip®からカスタムアレイに至るまで、様々なマイクロアレイプラットフォームに対応
- ・様々なスキャナーフォーマットはもちろん、カスタムフォーマットにも対応
- ・Exon、Tiling、Copy Number などのアレイにも対応可能

■アフィメトリクス社 GeneChip®用 ワークフロー搭載

- ・PLIER、GC-RMA、RMA、MAS5 などの処理が簡単に
- ・インターナルコントロールによる品質チェックも簡単に

■優れた生物学的解釈のサポート

- ・公共データベースからの自動アノテーション取得機能付き
- ・NetAffx™ アノテーションの更新機能付き
- ・GeneOntology によるデータマイニング機能付き
- ・パスウェイ解析ソフト PathwayArchitect™との連携が可能

■高品質でダイナミックなビジュアライゼーション

- ・動的なグラフの視覚化
- ・各種グラフや表のダイナミックリンク
- ・便利なグラフのエクスポート機能付き

■使いやすいインターフェイス

- ・ワークフローブラウザによる簡単解析
- ・各種パラメーターによる簡単フィルリング
- ・複数の解析、あるいは複数のサブセットデータの簡単切り替え

■スクリプト機能の充実

- ・解析処理の自動化や独自画面作成が可能

[2. ソフトの種類]

Array Assist Expression

- ・Exon/Tiling/Copy Number といった新しい GeneChip®の解析のためのオプションもあります。オプションは、新規購入時、更新時に追加することができます。3つのオプションを追加したフルスペックはもちろん、1つのオプションから追加可能です。

[3. 動作環境]

Windows 2000、XP
Mac OS 10.4 以降
(Linux にも対応予定です。)

[4. 価格]

- Array Assist Expression 通常価格 1,200,000 円、アカデミックディスカウント 450,000 円
(初回購入時、更新時のオプション追加には別途費用がかかります。)
- 低価格を重視した年間ライセンス形態となっております。
- 20 日間の試用版(無料)を提供しております。

[5. その他]

■ パスウェイ解析ソフト PathwayAchitect™(ストラタジーン社)の販売も行っています。

- 遺伝子の機能、疾患との関わりを調べるためのパスウェイ解析用アプリケーションソフトです。
- 遺伝子発現解析ソフト ArrayAssist®との連携が可能で、より進んだ解析が可能となります。
- 同ソフトについても ArrayAssist®同様、メディビックが独占販売権を取得いたしました。

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社メディビック 事業推進本部

TEL : 03-5510-2407

メディビックの技術情報サイト[Gene.MediBIC]

<http://gene.medibic.com>でも紹介しております。

ご参考

◆ストラタジーン社(Stratagene Corporation) とは

1984年創業のNASDAQ上場企業。本社は米国カリフォルニア州ラ・ホイヤで、米国内にいくつもの施設を保有するほか、日本やオランダにも支社を持つ。ゲノムやプロテオームなどの生体情報に関連した革新的な製品や技術を開発する、世界でも著名な企業。詳細情報は www.stratagene.com を参照。

◆アフィメトリクス社(Affymetrix, Inc.) とは

1991年創業のNASDAQ上場の企業。本社は米国カリフォルニア州サンタクララで、日本を含め世界各地に支社を持つ。ゲノム研究の大変革を推し進める突破口となったツールである「DNAアレイ」の開発製造におけるパイオニアで、現在、DNAアレイやDNAチップの世界市場でトップシェアを有する。

DNAアレイで最大のシェアを誇るGeneChip[®]マイクロアレイおよび、その解析システムの統合プラットフォームなど、躍進的な多数の製品・サービスの提供を続けている。全世界の著名な製薬・バイオテクノロジー企業並びにアカデミックな研究機関を顧客に持つ。詳細情報は www.affymetrix.com を参照。

◆ スtrand社(Strand Life Sciences, Pvt. Ltd.) とは

製薬企業の研究開発分野で活用される統計解析、データマイニング、さらにAI(Artificial Intelligence:人工知能)をベースとした予測モデルのソフトウェア等の開発を行っている会社。同社の強みであるアルゴリズム開発技術は、コンピュータサイエンス、化学、生物学、数学など多様かつ高度な専門技術者により開発されている。米国カリフォルニアに営業拠点を持ち、その高度な技術と応用性につき高い評価を得ており、既に、欧米の大手製薬企業やバイオベンチャー企業、大学研究組織などとの契約の実績を誇る。

2005年8月に、テクノロジー業界でアジアの成長企業上位100社に贈られる、RED HERRING 100 ASIA COMPANY(レッド・ヘリング・アジア民間企業100)に選出された。

<Strand Life Sciences 社の会社概要>

商号 : Strand Life Sciences Pvt Ltd

(※同社は、2005年9月に、Strand Genomics Pvt Ltd から商号変更しております)

所在地 : 237, Sir C.V. Raman Avenue Rajnahal Vilas Bangalore 560 080 INDIA

CEO : Vijay Chandru Ph.D.

設立 : 2000年10月

資本金 : 12.39百万インドルピー(約31百万円、2005年3月末現在)

売上高 : 21.72百万インドルピー(約54百万円、2005年3月期)

事業内容: 医薬品研究開発に関するソフト開発、コンサルティング

URL : <http://www.strandlifesciences.com>

◆ メディビックは、strand社との提携により、日本市場向けの遺伝子発現データ解析、化合物探索研究用ツール、in silico 薬物動態予測モデルなど、次世代製品の共同開発に取り組んで、製品化。創薬における新規化合物の選定から、候補化合物の最適化によるレベルの高い化合物ライブラリーの構築というケモインフォマティクス領域、更に、臨床開発への確立性の高い進展のための薬物動態分野の検討まで、幅広いニーズに対応できる製品を開発し、当社のインフォマティクス事業の一層の強化を図るとともに、テラーメイド創薬[®]事業実現への加速化を図っている。